

トビタテ！アメリカ演劇留学

1. 活動時期 2025年7月10日～8月10日

高校2年 宮永はな

2. 利用した旅行会社・エージェント名

文部科学省トビタテ！留学JAPAN

ISSOS International Summer Schools for 13–18 year olds (Yale Summer Program)

3. 活動の概要

私はトビタテ！留学JAPAN10期生として、舞台演劇とビジネスを学ぶために、イエール大学にて開催されたサマープログラムに参加しました。舞台演劇の授業では生徒で一つの作品を制作し上演して、ビジネスの授業では自身で事業を立ち上げる想定のもと投資者へ向けたプレゼン発表を行いました。また、プログラム前後はニューヨークに滞在し、上映中の様々なミュージカル作品を観劇しました。

4. 感想

私の場合はプログラム自体が3週間だったので、最初の方は不安でしたが充実した毎日を過ごすことができました。

特に印象的だったことは演劇の授業で、現在活躍されている演出家の方から授業を受けていました。プログラム最終日の公演に向けて、この授業を受講した生徒で一つの作品を作ったのですが、演出から音響照明、振付に役者まで全て生徒のみで制作しました。台本は講師の方と生徒で共同で作り、3週間という限られた時間の中作品を完成させたんです。私は役者と演出、照明を担当したのですが、他の生徒達の技術にとても驚きました。話を聞いてみると、どうやら彼ら彼女らは小学校から演劇の授業があり、多少は経験があるとのことでした。

小学校で演劇の授業、というのが私にははじめて知るような事で、同時に少し納得しました。日本では中高生が舞台演劇と接する機会は少なく、一部の学校で年に一回芸術鑑賞会があるかどうかです。けれど、他の国(この生徒達はアメリカやポーランド出身でした)では幼少期から演劇に触れるチャンスが豊富で、興味を持ったら続けやすい環境があるんです。私の探究テーマ『舞台演劇をもっと幅広い層に届けるにはどのような取り組みが必要か』の解決策の一つとして、教育の場に目を向けなくては、と気づきました。この気づきをもとに帰国後も探究活動、そして将来的には学生向けワークショップなどに挑戦したいです。

5. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

トビタテ留学は自分のやりたいことが定まっている生徒や、明確な目標に向けて活動する人におすすめです！選ぶプログラムによりますが、基本的に現地では独りなので自分が情熱をもって取り組める探究活動でないと精神的に辛い時もあります。ただその分、自分の好きな分野や興味のあるテーマに熱中できるのがとても魅力的です！自由度が高いので自分がやりたい事をやりたい環境、やりたい国でできます！



演劇の授業



最終日の発表公演



ビジネスプランの最終発表